

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	必修
担当教員			
()			
B (経営学科)	S (専門科目)	SM (演習)	401 (専門ゼミ・卒業論文等)
授業のねらい (概要)	交通とか物流は、毎日の行為であり、これがなくて市民生活は一日も成り立たない。われわれが生活していく上で必要なありとあらゆるものは、交通・物流の機能を通じて届けられている。そこでまず、こうした身近な事例を新聞・雑誌記事などから拾い出し、問題点を整理してみることにする。この科目はDP (ディプロマポリシー) に掲げられている「調べる力」、「考える力」、「コミュニケーション能力」を身に付けることを目的としている。		
授業計画	<p>第1回 物流とロジスティクス—用語の吟味 予習 (時間) : 講義と並行して発表形式で授業が進められるので、発表者は、与えられたテーマに対し、十分な検討を加えた上でレジュメを作成し、授業に臨むこと。(120分) 復習 (時間) : 授業で指摘を受けた点は、必ず次回に文書にして回答を提出すること。これに対し、出席者は全員でこれに検討を加えて、互いのさらなる研究に資するようにすること。(120分)</p> <p>第2回 市民生活と物流の関係 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第3回 ジャスト・イン・タイムの功罪 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第4回 IT革命下の物流企業 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第5回 物流形態の変容—サプライチェーン・マネジメントと3PL 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第6回 海運、港湾および航空物流の特徴 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第7回 各自関心のあるテーマの設定、構成の検討 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第8回 各自関心のあるテーマの設定、構成の検討 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第9回 各自関心のあるテーマの設定、構成の検討 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第10回 上記のテーマに関する個別指導 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第11回 上記のテーマに関する個別指導 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第12回 上記のテーマに関する個別指導 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第13回 上記のテーマに関する個別指導 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第14回 ゼミ論文発表会 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p> <p>第15回 ゼミ論文発表会 予習 (時間) : 前回同 復習 (時間) : 前回同</p>		
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>1. 経営学の専門的知識を持ち、組織全体を見渡す能力 2. 経営資源 (ヒト、モノ、カネ、情報) を多面的に理解し、活用できる能力</p> <p>【身に付くスキル】 生涯学習力・情報活用能力</p>		
到達目標	<p>①新聞・雑誌記事などから交通、貿易およびグローバル・マーケティングに関する問題点を整理できるようにする。 ②その問題点についてコメントできるようにする。 ③ゼミ・レポートに反映させるための補足的な知識を身につけるようにする。</p>		

課題や小テスト等のフィードバックの方法	各自のテーマに即したゼミ論文の提出を課す。発表会を行い、ゼミ論文のブラッシュアップを目指す。
履修上の注意	自らテーマを設定し、それについて考え抜き結論をまとめる、そういった積極的な姿勢で授業に臨んでほしい。2年次配当の交通論および貿易論は、演習形式のこの授業での基礎科目となるので、履修を必須とする（未履修者は今年度、受講すること）。また、3年次配当の国際マーケティング論も履修しておくことが望ましい。
成績評価の方法・基準	学期末の定期試験（筆記試験）は行わない。代わってゼミ論文を課し、その成果を学期末に提出してもらう。授業中および予習・復習に見られる学修意欲も評価の対象とし、ゼミ論文70%、学修意欲30%の割合で総合評価する。
教科書	図解 統計学超入門 ISBN番号：978-4-86667-104-8 著者名：高橋洋一 出版社：あさ出版 発行年：2018年 価格：1400円
参考書・教材	
備考	講義科目
教員との連絡方法	メール、オフィスアワー